

2回目の協議が開催されるも隔たりは大きい

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

反落

今朝(現地3月3日)の米国市場は、一時はロシアとウクライナによる2回目の協議が開催されたことが好感されて、NYダウはザラ場では前日比+200ドル以上の上昇となる場面もあったが、依然として両者間には隔たり大きいことが嫌気されてマイナス圏に沈み、NYダウは前日比▼96ドル(▼0.2%)の3万3794ドル、ナスダックは同▼214ポイント(▼1.5%)の1万3537ポイントで終えた。ナスダックは前日の上げ幅を吐き出した。

妥協なき戦争の継続表明が報道される

フランスのマクロンと電話会談したプーチンは「妥協なき戦争の継続」を表明したと報道されている。ロシアは停戦条件としてウクライナにウクライナの非武装化など受け入れ難いものを求めていると言われており、ロシアとウクライナの間では依然として隔たりが大きい。このため、今後も停戦協議は難航することが予想される。ロシアが軍事力でウクライナを圧倒するなか、ロシアはウクライナ全土の掌握を視野に入れていることも想定される。仮にウクライナ軍が風前の灯となっても、欧米諸国の参戦は戦火の拡大となる恐れから現実的ではなく、米国でも国民の多くが米国の積極的な関与には消極的なようだ。

西側諸国との分断というバンドラの箱が開けられた

ただし、アイザワ日本株レポート「プーチンは何を見誤ったのか? (3月2日発行)」でふれたように、今後想定される台湾問題を考えると、米国を含めた西側諸国の対応は、前回のクリミア併合の後とは異なり相当なものになるだろう。ロシアは経済的に立ち行かなくなる可能性が高まる。米格付け会社のS&Pはロシアの外債建て債務格付けについて、制裁によってロシアの外債準備高は半分程度にまで減少したとみて、債務不履行リスクが高いCCCマイナスに引き下げた。プーチンは西側諸国との分断というバンドラの箱を自ら開けてしまった。

原油はイラン禁輸措置の進展期待で下落

WTI原油はイランに対する禁輸措置への進展期待から、前日比▼2.6%の107.67ドルと4営業日ぶりに下落した。米国でインフレ圧力が高まるなか、3月のFOMCでの利上げは0.25%に留まるとみられている。足元で米国が直面する課題はインフレだが、利上げを0.25%に留める動きは、将来の景気腰折れに対する懸念は相当といえる。米国10年債利回りは前日比▼0.03ポイント低下の1.84%となるなか、今朝のドル円は115.50円程度で推移している。シカゴ日経平均先物は前日比▼290円の2万6370円で引けている。

東京市場マーケットデータ

2022/3/3 現在

日経平均	2万6577円
東証1部売買代金	2兆7561億円
時価総額	686兆4330億円
日経平均予想PER	12.6倍
日経平均PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quickk

日経平均パフォーマンス

昨年来高値	3万795円	2021年9月14日
昨年来安値	2万5775円	2022年2月24日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

2022/3/3 現在

	株価前日比
1 日本郵船	5.6%
2 レーザーテック	1.0%
3 商船三井	4.5%
4 ソフトバンクグループ	▼1.0%
5 川崎汽船	5.5%
6 三菱 UFJFG	4.0%
7 トヨタ	0.4%
8 任天堂	1.8%
9 東京エレクトロン	0.4%
10 INPEX	2.1%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



出所: Quick

日経平均の推移（年初を1として指数化）



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

